



学校だより 4月号

横浜市立菊名小学校

令和4年4月7日

71年目の新たなスタート

校長 野間 義晴

風景が鮮やかに彩られ、春爛漫、優しい風が学校を吹き抜けてきます。年度が変わり、気分も一新です。今年も、卒業生や入学式に向けて地域の方が、通りに面した庭先にオブジェを飾ってくださいました。心のこもったメッセージを含め、改めて、本校は多くの家庭・地域の方々に支えられていると実感しております。心より感謝申し上げます。

さて、春の味覚の王者に筍があります。筍は、その旨味とほのかな甘みが魅力でもあります。「一筍（いっしゅん）で竹になる。」と書く「筍」の文字のとおり、その成長は目を見張るものがあります。実際には筍から竹へと、一日に一メートル以上伸びることもあるそうです。本校は昨年度70周年の節目を迎え、今年度は新たな71年目の歴史をスタートさせる年でもあります。筍から竹へと節をつくってのびていくように、新たな学年になった子ども一人一人が、これからの時代に必要な資質・能力を身に付けていくために、学びの



質を高めていきたいと考えます。すべての子どもが、持続可能な社会を築いていくために共に学び合い、社会でよりよく生きていけるような力を筍のごとくのぼしていったほしいのです。「何ができるようになったか。」といった、資質・能力ベースの視点から授業改善を図るべく、教職員一人一人が研究を重ね、工夫して実践をしていくことを通して、教育目標にあります「こころ ゆたかな きくなの子」の具現化に向けて本校の教育活動も一層の充実を図ってまいります。そのためにも、なにより家庭・地域と学校の協力関係が欠かせません。

新入生を迎え全校児童913名でのスタートとなりました。新しい学年、新しいクラスにおいて菊名の子ども一人一人が輝くために全教職員が一丸となってがんばってまいります。保護者・地域の皆様には、今年度もご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



本校の学校教育目標

こころ ゆたかな きくなの子

- 意欲的に問題解決学習をする子（知）
- 自分や相手を大切にする子（徳）
- 心と体の健康な子（体）
- まちを愛する子（公）
- 違いを認め合える子（開）

